科目名	マネージメント研究			科目コード	0215
開講学科	共通専門科目	単位数	2	形態	演習
教員名	谷　悟				

授業の目的及びテーマ

[マネージメント研究 1]
本講座は、“＜私＞は、なぜ、作品を創らざるを得ないのか？”という問いからスタートを切る。創作衝動は、いったいどこから去来するのであろうか。自らのリアリティを結晶化するとは何か。それらの解を探りながら、自らの創作活動をマネージメント（運営）し、日々、育むためのストラテジー（戦略）を練り上げるための基礎的手法を学ぶ。
[マネージメント研究 2]
本講座は、＜私＞の表現を社会に着地させ、響かせるセルフプロデュースの基礎的手法を学ぶ。
＜私＞の独創性を活かし、新たな可能性を拓くためのステージを求め、新たな挑みを実現させる企画を設計する。このプログラムに取り組むことで、表現者として多様なアプローチを展開できるマネージメント感覚と実践力を身に付けることを目標とする。

授業概要

[マネージメント研究 1]
アートの創作活動を本格的に展開させるためには、単に実技を極めるだけでなく、“表現者にとってのマネージメント”のセオリーを修得することが必要不可欠となる。これまで制作した作品やテキスト等の情報を集約したポートフォリオを編集し、＜私＞の独創性をアピールすることができるツールを創る準備作業を進めることは極めて大切なことと言えるだろう。本講座では、＜私＞と＜作品＞の連関性を根源的なレヴェルで考察し、対峙するためのワークシートに取り組むことで、その結果をダイアグラム（図解化表現）にまとめ、クリエイションの核を成すステートメントのライティングを試みる。
[マネージメント研究 2]
＜私＞が創作する世界は、日常空間と如何なるかたちで関係を結び、繋がり、社会を揺さぶることが出来るだろうか？新たなコミュニケーションの回路を拡張させることを企てるアートプログラムの立案をおこなう。コンセプト、展示計画、ワークショプの開発等で構成されたプレ企画書を作成することができる力を身に付ける。

授業計画

第 1 回：“表現者にとってのマネージメント”とは何か？
第 2 回：＜私＞とは誰か（キーワードの抽出：基礎属性、性格、仕事、趣味、ライフスタイルほか）
第 3 回：＜作品＞の特性（キーワードの抽出：技法、素材、モチーフ、フォルム、カラーほか）
第 4 回：＜私＞＋ ＜作品＞の統合　ダイアグラムの作成①　カテゴリー
第 5 回：＜私＞＋ ＜作品＞の統合　ダイアグラムの作成②　相関の構造を検討
第 6 回：作家研究／創作の現場　石内都 DVD 視聴
第 7 回：作家研究／創作の現場　石内都 DVD の内容を分析：ワークシートを作成
第 8 回：作家研究／創作の現場 石内都　ディスカッション
第 9 回：アーティストが育む問題意識、価値観の形成、世界観の構築、テーマの設定とオリジナリティ
第 10 回：ステートメントのライティング①　草稿（パラグラム）の作成
第 11 回：ステートメントのライティング②　草稿（パラグラム）のチェック
第 12 回：ステートメントのライティング③　決定稿の作成
第 13 回：プレゼンテーション＋討議①
第 14 回：プレゼンテーション＋討議②
第 15 回：総括シートの作成
第 16 回：＜私＞の表現を社会に着地させ、響かせるセルフプロデュースの基礎的手法とは？
第 17 回：＜私＞の独創性を活かし、新たな可能性を拓くためのステージを模索
第 18 回：企画概要を 6 W 2H 型式でまとめ、プランニングのアウトラインを定める
第 19 回：コンセプトの構築①（私だからできること）を探る
第 20 回：コンセプトの構築②（私の表現であるがゆえにできること）を探る
第 21 回：作品創作の検討① 構想設計
第 22 回：作品創作の検討② 作品のチョイス、ラフスケッチ
第 23 回：展示計画①イメージディレクション
第 24 回：展示計画②ラフスケッチ
第 25 回：ワークショプの開発①プログラムの開発／システムデザインの構築
第 26 回：ワークショプの開発②運営計画

第 27 回：プレ企画書のエディトリアルワーク
第 28 回：プレゼンテーション＋討議①
第 29 回：プレゼンテーション＋討議②
第 30 回：総括シートの作成

テキスト	特になし	参考文献	辛 美沙　アート・インダストリー 美学出版　2008

評価方法 :

面接授業で取り組んだワークシート、プレ企画書、スクーリング運営貢献度等（プレゼンテーション、コメントなど）で総合的に評価する。